

向田邦子が描く人間はなぜ私たちを惹きつけるのか

没後 40 年を過ぎても多くの人を魅了し続ける向田邦子作品。その背景にある、向田自身の人間観・倫理観、そしてそれが現代の私たちに問いかけることについて、倫理学・日本思想の観点から、向田の実際の作品を使ってお話しいたします。

《講師》日本女子大学 国際文化学部 国際文化学科

伊藤 由希子 准教授

日時 2025 年11月16日(日) 13時半～15時

場所 くまもと交流館パレア 10階 第7会議室



◇参加費 無料(他支部、一般の方の参加もお待ちします)

主催：日本女子大学桜楓会熊本支部

◆お申込方法：日本女子大学桜楓会熊本支部
TEL 090-4355-2308(小田)またはメールアドレス
oda.takakoB@city.kumamoto.lg.jpのどちらかに

① 参加人数 ②参加者名 ③代表者の携帯番号
をお知らせください。



(講師紹介) 伊藤由希子 准教授 プロフィール

日本女子大学国際文化学部国際文化学科准教授。1975 年神奈川県生まれ。東京大学文学部卒業。同大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。東京大学生死学・応用倫理センター特任研究員、鎌倉女子大学准教授、日本女子大学人間社会学部文化学科准教授などを経て、現職。専攻は、倫理学、日本思想。著書に、『女たちの精神史——明治から昭和の時代』(春秋社)、『仏と天皇と「日本国」——『日本霊異記』を読む』(ベリかん社)。共著に『越境と風土・伝統の哲学』(丸善出版) など。

【講師派遣事業とは】 支部主催の講演会を、桜楓会員をはじめ広く地域の方も参加可能として開催すること条件に、講師謝金・旅費交通費・旅行傷害保険(地方支部講演会の場合) を負担し、理事会が委嘱した大学教員を講師として派遣する桜楓会の公益事業のひとつです。